



オープンキャンパスの様子

コロナ後の本学の取り組み

今年度は、本学の授業や行事、さまざまな企画がようやくすべて対面で可能になりました。

8月には、多くの高校生や保護者が「オープンキャンパス」に来学され、9月の「鈴風祭」「卒業生あつまれ!」では、学生、卒業生、地域の方々の笑顔があふれました。

「公開講座」も学内・学外から多くの方が参加され、活発に意見交換が行われました。対面での授業やサークル活動も活発になり、キャンパス内で仲間と交流する学生のはつらつとした姿が見られるようになりました。今号では、そのような「コロナ後の学生たちの姿」を特集してお届けします。

今後の大学のあり方をめぐりましては、県民や高校生に選ばれる看護大学を目指し、学生の充実した大学生活と、生涯学び続けることを支援していくための目標や計画も検討されています。

広報・交流委員長 渡辺 みどり

【オープンキャンパス】



<在校生との交流に参加して>

先日、オープンキャンパスに在校生として参加させていただきました。「在校生との交流」の時間には、参加した高校生やその保護者の皆様の前で学校生活についてお話させていただき、大変緊張しましたが、これまでの自身の学校生活について振り返る機会ともなりました。私が受験生の頃には、コロナ禍でオープンキャンパスがありませんでしたが、参加者の方と一緒に大学内の見学に参加させていただき、高校生に戻ったような気分となりました。

参加者の方からは、受験や一人暮らしに対する質問や相談を多く受け、私自身も受験期や入学前はとても不安だったことを覚えています。オープンキャンパスに参加したことで、大学生活についてイメージを持てたり、少しでも疑問や不安が解消されていれば嬉しいです。

看護学部3年生 寺田 光沙



<高校生たちと接して>

私は今、領域別実習の最中です。臨地での経験は、私にとって看護観を養ううえでとても深い学びになっています。過日のオープンキャンパスを振り返ると、高校生たちの真剣な眼差しを思い出します。私が受験したときはコロナ禍で制限も多く、大学生活に沢山の不安を抱いていたのを覚えています。高校生から受験に関する相談やときには長野の気候についても聞かれ、この大学に進学したいという強い気持ちがとても嬉しかったです。高校生たちの姿を見て、私自身も初心を思い出す機会となりました。3年間の大学生活は、サークル活動もでき、座学だけでなく実習で深い学びが得られており、とても充実した生活を送ることができています。自身を通して、「長野県看護大学」の魅力が伝わっていたら幸いです。

看護学部3年生 渡辺 美結



大学内の見学ツアー



図書館を見学

【鈴風祭】



9月2日、3日に、対面形式では4年ぶりに鈴風祭を開催することができました。今年度のテーマは「ReStart」でした。制限が緩和され、例年通りに戻りつつある中で開催する「再始動」と、自分たちらしい形で盛り上げ、新たな鈴風祭の形を見つけない「始まり」の二つの意味を込めました。4年ぶりということもあり、鈴風祭を経験したことのある人も少なく、過去の資料もほとんど残っていない状態での準備でとても苦労しました。卒業生の方や協力

してくださった業者の方々のご協力のもと、鈴風祭を開催することができました。今年度の鈴風祭を開催するにあたり、本学の学生の皆さん、先生方、地域の方々に多大なるご協力を頂きました。感謝申し上げます。

鈴風祭実行委員長 原田 瑠紀



【卒業生あつまれ！】



9月2日に「卒業生あつまれ！」を、4年ぶりに対面形式で開催しました。本年度は、この春の卒業生に加え2019年度以降の卒業生も参加対象としました。当日は、41名と多くの卒業生にご参加いただきました。同窓生同士では、近況報告や日々の実践での悩み相談など、また、卒業年度を超えて先輩からの今後のキャリアアップへのアドバイスをもらい、楽しい一時を過ごすことができたようです。参加者からは「リフレッシュできた」「先輩の話が励みになった」等、教員からも成長した卒業生と再び会えて嬉しかった等の感想をいただきました。今後も、卒業生を対象とした企画を検討していきたいと思ひます。

母性・助産看護学分野 准教授 河内 浩美

【第1回公開講座】



去る令和5年9月16日（土）、第1回公開講座が開催されました。今回は講師に本学基礎看護学講座、看護管理学・看護教育学分野教授の渋谷美香先生をお迎えし、「変化する医療・社会における看護職に期待される役割」をテーマにご講演いただきました。60名の学内、学外からの看護職や一般の方、高校生などの参加がありました。講義後は参加者から地域の課題に関する質問などがありそれに答えてくださいました。参加者からは「興味深く聞かせていただいた」、「長野県の現状、問題がわかった」、「進路の参考になった」など、好評を得ました。

成人看護学分野 講師 浦野 理香

【キャリアガイダンス】



学生委員会ではキャリアガイダンスを実施しています。2年次には、本学卒業生をお呼びし、在学中の様子、就職活動、現在の仕事への取り組みなどについてお話しいただいています。3年次には2回あり、夏休み前には、職場で管理的業務を担当されている方々から、職場の現状、本学生への期待、実習への心構えなどについて講義をしていただいています。また、就職情報会社と就職支援員からは、夏のインターンシップや、公務員試験なども含めた就職活動全般について説明しています。領域別実習終了後のガイダンスでは、スケジュールの確認、選考対策など目前に迫った就職活動についてお話ししています。最終学年では、同時期に実習、就職活動、卒業研究、国家試験対策を行わなければなりません。早め早めの対策が大事です。就職支援員は、就職、進学を問わず、みなさんの希望進路決定から合格、内定までお手伝いしています。困ったことがあったら、いつでもご相談ください。

就職支援員 花岡 秀樹

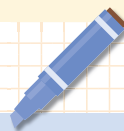
【新しくなった情報処理室】



情報処理教室のパソコンとプリンターが更新されました。一斉操作も可能な機器管理システムもリニューアルされています。皆様のご利用をお待ちしています。

健康・保健学分野 准教授 秋山 剛

【2024年度からの第4次5か年計画策定とワークショップ】



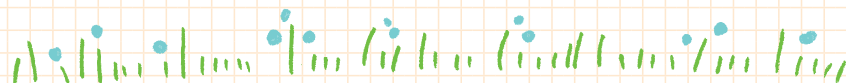
本学開学の頃は全国で約30校であった看護系大学も、今では300校となりました。コロナ禍の影響もあり、大学教育のICT化、看護DX教育は大きく進展しました。さらに、人口減少と少子高齢化が進行する2040年問題を見据えて、看護教育は大きな転換点に立っています。このような社会情勢を踏まえ、本学では大学改革に取り組み始めています。

2022年度には、卒業生、修了生の調査や県内病院、施設等の看護管理者への聞き取り調査、学内の看護DX教育に向けた教員の意向把握などを致しました。

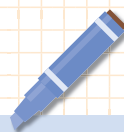
2023年度は、2024年度から2028年度の「第4次5か年計画策定」に取り組んでいます。本学が長年培ってきた看護教育の理念を活かし、長野県の政策や看護教育の動向を踏まえて本学が目指す看護職像と、その実現のために大学のあるべき姿を示したいと思えます。県民や高校生に選ばれる看護大学であり、充実した大学生活が送れ、生涯学び続ける支援も可能となる大学になれるよう基本目標を定め、計画を練っています。

数名の教員でプロジェクトチームをつくり、8月に第一次案を公表しました。それを基に、9月には全教員が参加するワークショップを開催しました。ワークショップでは、「本学の強みを活かし、ゆとりある教育にしたい」、「学生が主体的に活動できるようにしたい」などの意見が寄せられました。これらの意見を反映させて完成させ、2024年度から具体的に取り組んでいきます。

学長 大塚 真理子



【第2回リベラルアーツ教育ワークショップ】



9月6日、本学教員を対象に、現代社会の様々な問題に立ち向う「総合力」を養い、急速に進行するグローバル社会に対応する人材を育てるためのリベラルアーツ教育について、昨年度に引き続き第2回ワークショップが開催されました。今回は、前回のワークショップでまとめられた項目に沿いつつ、各教員が行っている取り組みや、不足している取り組みに対する解決策を話し合いました。

ワークショップ後のアンケートでは、各教員が行っている取り組みについて、多くの参加教員より「参考になった」との回答を得ました。また、話し合いから今後の課題として、学生・教員の自律的な活動を支えるための時間的なゆとりの確保、学生の学年を超えた縦の繋がりの強化、他大学との交流・共同研究、地域との繋がりの強化など視野を広める機会を増やすことがあがりました。そのためにはカリキュラムのあり方や見直しも含め、組織単位で検討する必要があるという意見が多く出されました。

老年看護学分野 講師 細田 江美

【学位記授与式】

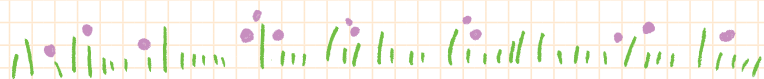
博士後期課程では、臨床現場の看護師の教育につながる研究を目指し、看護師の多重課題に関する研究に取り組みました。研究を進める上では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う調査対象者の確保の難航や、自身の知識不足が故の躓きなど、様々な壁に直面しました。しかし、その都度、先生方からの励ましや丁寧なご指導をいただき、それらの困難に立ち向かうことができました。今となっては、様々な困難も、自身の成長へとつながり、学びかつ問うことの喜びを得るための糧になったと感じています。研究は決して楽しいことばかりではありません。しかし、今後も博士後期課程で培った経験や知識を活用し、社会に還元できるような研究に取り組んで参りたいと思います。



成人看護学分野 助教 小口 翔平

この大学へ入学した時には、まさか世の中の状況がこれほどまでに大きく変化するとは想像もしていませんでした。医療現場が逼迫している状況の中で臨地実習に行き、学ばせていただいていることの責任を痛感し、自分にはその覚悟や姿勢はあるのかと自問自答を繰り返すうちに、立ち止まる時間が必要となりました。しかし今は、その過程で無駄なことは何一つなかったと思っています。時代が変わっていくこと、時代とともに人も変化していく必要があること、他者と接する上で自らの言動に責任をもつこと、他者を理解するにはまず自分について深く知ること。看護職者を志す者としてだけでなく、これから社会に出る人間として大切な学びを得た期間となりました。これらの大切な気付きをもとに、今後も努力を続けていきたいと思っています。

看護学部 前学期卒業生 小林 美優



【糖尿病教室】



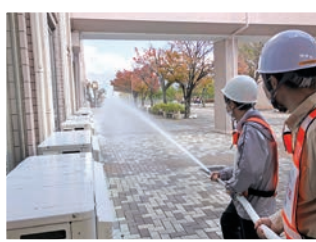
9月30日（土）、午前9時から駒ヶ根高原マレットゴルフ場において、昭和伊南総合病院開催の糖尿病青空教室が開催され、昭和伊南総合病院のスタッフ、本学からは教員と学生1名も含め、合計25名でマレットゴルフ大会に参加しました。お昼は隣接した切石公園ちびっこ広場へ移動し、本学の1年生が授業「信州学」で考案した健康弁当を喫食しました。

健康・保健学分野 准教授 秋山 剛

Kandaigram 2023.7 ~ 2023.12



生協学生委員会七夕企画



10/27 防災訓練



10/28 ふれあい花壇撤去



11/26 一斉清掃



11/30 動物慰霊祭



12/1 長野県看護大学同窓会
鈴風会からの図書寄贈



12/13 卒業研究発表会（老年看護学分野・精神看護学分野）



【海外学会発表】



国際学会（IPOS）に参加しました！ 本年8月31日～9月3日、イタリアのミラノで開催された「IPOS：International Psycho-Oncology Society」に、熊谷理恵先生、近藤恵子先生（松本看護大学）と共に参加し、ポスター2題を発表しました。このIPOSは日本語では「国際精神腫瘍学会」で、がんの心理・社会的問題を全人的視点で多職種でディスカッションする場になっています。コロナ禍でIPOSの現地開催は4年ぶりとなり、会場のミラノ大学には世界の多くのがんの専門職が集まり活況を呈した学会になりました。日本の研究者たちの姿もチラホラ…。そんな中で関西の病院からがん専門看護師が参加していて、「がん看護の今とこれから」で話が盛り上がりました。ミラノは、大聖堂を始めとしてヨーロッパの歴史と文化を色濃くもつ都市であり、ファッションが素敵です。街を歩くビジネスマンがビシッと決まっています、思わず3人で見とれてしまいました。イタリアの本場ピザやパスタはとにかく大盛でびっくり！味は申し分ないのだけどパスタがアルデンテで、胃に堪えました～。

成人看護学分野 教授 柳原 清子

新任教員紹介



9月に着任いたしました。以前に3年間ほど本学で母性看護分野の助手をさせていただいた経験があります。再びご縁があり、この度勤務させていただくことになりました。今回も学生の皆様と共に看護の魅力や奥深さを探求し、母性看護実習がより充実したものになるよう、可能な限りのサポートを心がけたいと考えております。

母性・助産看護学分野 助手 藤井あゆみ



INFORMATION



2023年度 第2回公開講座

テーマ リハビリテーションとセカンドオピニオン ～健康に過ごすために～

納得したリハビリが受けられるようにするにはどうしたらよいのか、日々を健康に過ごすにはどのような事に気を付けたらよいのか、といった内容をお話しできればと思います。

日 時 2024年2月10日(土) 13:00～14:30 (受付 12:30～)

会 場 長野県看護大学 大講義室 (教育研究棟3F)

講 師 長野県看護大学 基礎医学・疾病学 助教 **上條 明生** (理学療法士)

参加申込・対象者 申し込みの必要はありません どなたでもご参加いただけます

**入場
無料**

第20回長野県看護大学研究集会

日 時 2024年3月14日(木) 9:30～14:30 オンライン開催 (Zoom)

プログラム 午前の部

◇特別講演

**テーマ：地域で暮らし続けるために求められる
社会とのつながりとは？**

**～フィールドワークからみえてきた気になる人、
気になり始めた人の求める距離感～**

講 師：澤岡 詩野 先生 (ダイヤ高齢社会研究財団)

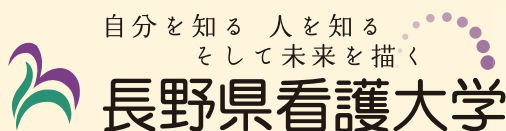
◇県内看護職者との共同研究発表ほか

午後の部

◇交流会「研究倫理研修」

申し込み方法やプログラムの
詳細は長野県看護大学研究集会
ホームページをご覧ください➡

研究集会ホーム
ページQRコード



〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL 0265-81-5100 <https://www.nagano-nurs.ac.jp/>



長野県看護大学学報
No.57 (令和6年1月)

編集・発行
長野県看護大学 広報・交流委員会